



青のりレポート!

AONORI REPORT

<http://aokinorio.com>

市議会報告

11月24日から12月17日まで令和2年度川崎市議会第6回定例会が開催されました。12月14日には一般質問にて、子母口工区の工事状況、路線バス運行について、脱炭素化社会における電動車導入の提案、橘樹官衙の保存と活用について質問しました。自民党川崎市議団は代表質問にて、財政全般の質問から行政のオンライン化、感染症対策の状況など市政についての質問を多岐にわたり行いました。一部抜粋してお届けします

一般質問

都市計画道路宮内—新横浜線について

宮内—横浜線子母口工区の進捗状況と、完成後、地域から切望されている児童の安全性を考えたバス路線変更の調整状況について質問しまし

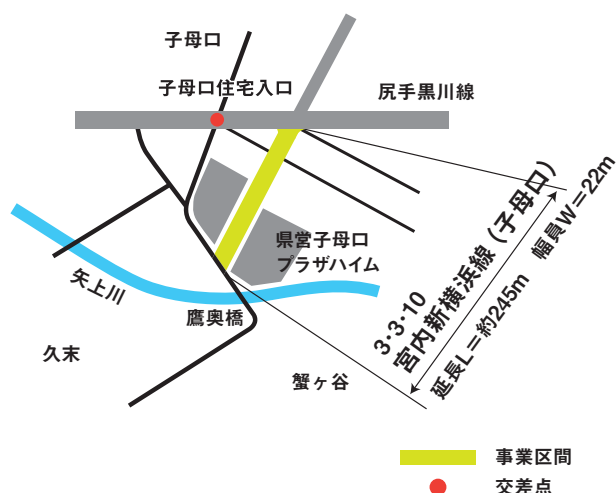


た。併せて、開通が期待される高田間—子母口間の状況と、等々力大橋(仮称)と接続する宮内工区の進捗状況について質問しました。

答弁 建設緑政局より

子母口工区について、令和元年度に用地取得が完了し、現在水道などの占用工事を行っています。令和3年度中に道路工事に着手し、概ね1年間の工事

■ 宮内新横浜線子母口工区 個所図



■ 宮内新横浜線宮内工区 個所図



期間を予定しています。バスルートについて、工事の進捗に合わせてバス業者がルート変更手続きを進めます。子母口工区から横浜県境までの道路整備について、第二次道路整備プログラムに位置付けていないことから、現時点では事業着手の見通しはお示しできない状況です。宮内工区について、令和2年3月末時点で用地取得率は約46%であり、引き続き進捗を図ります。

一般質問 路線バス運行について

一 昨年から、開通した杉06系統（武蔵小杉駅一道中坂下）が、昼の間のみ、東山田駅まで延伸しました。大変便利になりましたが、延伸した時間が、9時－16時台ということで、通学・通勤に使いたいが使えず残念だ

杉06 東山田駅行き					
道中坂下発 発車予定時刻表					
時刻	平日		土曜	時刻	休日
6				6	
7				7	
8				8	
9	54		44	9	43
10	15 36		12 43	10	08 32
11	12 36		32 56	11	08 54
12	01 17 38		32	12	15 48
13	15 57		07 31	13	21 56
14	19 57		19 57	14	27
15	36		21	15	02 37
16	02		11	16	12
17				17	
18				18	
19				19	
20				20	
21				21	
22				22	
23				23	

意見 青木より一言

市政は、市域だけを考えるのではなく、市民の生活圏を考えることが重要です。それを踏まえると、世田谷区、川崎市、横浜市 目黒通りから、宮内、子母口、高田 新横浜をつなぐこの道路は重要です。児童生徒の安全対策と早期の完成に向けて取り組むことを要望しました。

との声を多くいただいております。朝、夕の路線の重要性について、状況と見解を質問しました。

答弁 まちづくり局より

朝夕時間帯の運行について、バス事業者からは「引き続き利用状況を見定めていく必要がある」と聞いています。本市としても利便性向上に向けた取り組みは重要と考えますので、バス事情社党を通じて要望を伝えていきます。

意見 青木より一言

生活圏を見据えて、今後も提案し続けていきたいと思います。

一般質問 脱ガソリン 2030年半ば新車電動車について

経済産業省は、2030年代半ばで、国内の新車販売からガソリン車をなくすこと発表しました。本市も脱炭素社会の実現に向けて大きく舵を切っている中、公用車を含め、すべてを環境車にすることを宣言していい時期と考え、市長の考えを質問しました。

答弁 市長より

環境にやさしい電動車への転換は重要な取り組みと考えます。今後は脱炭素戦略に基づき、2030年マイルストーンの達成に向け、公用乗用車への電動車導入を加速するとともに市内企業とも連携して電動車のさらなる普及に向けて環境整備を推進していきます。

意見 青木より一言

エネルギー施策を考え時、車だけで、脱炭素社会は語れませんが、電動車は、比較的わかりやすくメッセージが伝わりま



す。川崎市が得意とする、水素戦略、蓄電池施策も含めて、国の総合施策と連動して進めていく事を提言しました。その上で、まずは公用車の普通車について数年以内に100%を目指すことを提言しました。

公用車における電動車の導入状況について（令和2年3月末時点）

用途等区分	総台数	電動車台数	電動車の台数内訳			
			内燃機関あり		内燃機関なし	
			HV	PHV	EV（電気）	FCV（水素）
乗用自動車	213 (100%)	70 (32.9%)	65 (30.5%)	—	2 (0.9%)	3 (1.4%)
軽自動車	92 (100%)	9 (9.8%)	8 (8.7%)	—	1 (1.1%)	—
小型自動車	65 (100%)	27 (41.5%)	27 (41.5%)	—	—	—
普通自動車	56 (100%)	34 (60.7%)	30 (53.6%)	—	1 (1.8%)	3 (5.4%)
乗合自動車	363 (100%)	38 (10.5%)	38 (10.5%)	—	—	—
貨物自動車	524 (100%)	8 (1.5%)	1 (0.2%)	—	7 (1.3%)	—
特種用途自動車	549 (100%)	140 (25.5%)	139 (25.3%)	—	1 (0.2%)	—
大型特殊自動車	7 (100%)	—	—	—	—	—
計	1,656 (100%)	256 (15.5%)	243 (14.7%)	—	10 (0.6%)	3 (0.2%)

※かつこ内は用途区分ごとの比率

出典：令和元年度公用車使用状況調査台帳（エコオフィス管理システム）を基に集計

記事に関するパンフレット等の詳細は下記サイトをご参照ください



新型コロナウイルス感染症モニタリング情報



かわさきコロナ情報（動画特設ページ）



タウンニュース「子宮頸がんワクチンの正しい理解を」



かわさき防災アプリについて

一般質問 橘樹官衙の保存・活用について

当時の建物を復元について、どのようなものを想定しているのか、VRを使った映像の取り組みもされるのか、完成時期は、いつ頃なのか質問しました。併せて当時活用されていたであろう、影向寺と野川神明社と合同でイベントを開催することを提案しました。また、近隣のアクセス道路（中原街道蟻山坂工区）に看板を立てる件について、どのようなものを想定しているのか質問しました。

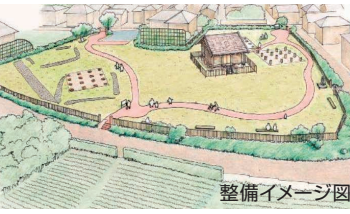
答弁 教育委員会より

史跡整備について、令和5年度供用開始に向けて進めています。復元については古代の税である稲を収める倉庫として当時の一般的建物は異なる威厳を示す建物であったと考えられ、雰囲気を感じられるよう検討しています。VRやAR等のデジタルコンテンツの活用も計画しています。本遺跡群に所

在する社寺とのイベントについて、ご協力をいただきながら市政100年の節目に相応しいものを検討していきたいと考えます。案内板等の設置については、中原街道の新たな信号機「橘樹官衙入口」北側に、縦約1m、横約2mのものを予定しております。

意見 青木より一言

歴史文化は、その地域の大切な生きた証です。歴史や文化をワクワク楽しめるような仕組みを作れるようにしていきたいと思います。



整備イメージ図

代表質問 再生エネルギーの導入・最適利用について

市内に賦存している再生可能エネルギーのポテンシャルについての評価を質問しました。また、一般廃棄物以外の資源の活用も必要と考えます。例えば、介護施設や保育施設等から出るおむつなどの排泄物からメタンガスを回収することでの発電も可能です。廃棄物の効率的な収集と活用についての見解を質問しました。

答弁 環境局より

廃棄物発電の有効活用についてサウンディング型市場調査を実施したところ、民間事業者11社が参加し、電力の地産地消や民間事業者が有する再生可能エネルギーとの連携などの提案がありました。本市には多彩な再生可能エネルギー資源を活用した発電所が立地するとともに住宅にも多くの太陽光発電が導入されるなど、豊富なポテンシャルを有していると認識しています。廃棄物の効率的な活用について、脱炭素の観点から大変有効なものと考えており、

さらなる活用を行う事は重要です。調査研究を進めていきたいと考えます。

意見 青木より一言

市内7区のうち、高津区がエコシティもモデル区となりました。市民に身近な再生可能エネルギーの取り組みを目指します。



「CCかわさきエネルギーパーク」パンフレットより

代表質問 コロナ禍における町内会・自治会への支援について

市政だより（1月号表紙）



町内会・自治会に依頼していた市政だよりの配布が、新聞折り込み・業者によるポスティングへと変更されました。配布に対する謝礼金は町内会・自治会の運営上、貴重な財源となっており、この変更による収入減は町内会・自治会運営に大きな支障をきたしています。市政における重要なパートナーである町内会・自治会に対しての支援策について、考えを質問しました。

答弁 市民文化局より

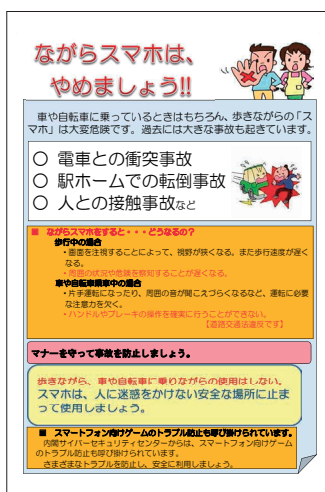
市政だよりの配布方法変更に伴う収入減による影響について、全町内会連合会や各区連合町内会役員会などにおいても意見をいただいています。新たな財政支援について、既存の補助金等との整理や、町内会・自治会における事務負担など、様々な課題があるため関係局区と連携し検討を進めています。

意見 青木より一言

コミュニティをデザインすることは、その地域に住む人、1人ひとりの成長に繋がります。大切な事を見つめながら、施策を充実させて行きます。

代表質問 歩きスマホの防止について

本年7月、大和市、足立区では歩きスマホの防止に関する条例が施行されました。現在の本市の歩きスマホ防止策は、HP上での注意喚起、FMかわさきでの不定期注意喚起を実施しているとの事です。もっと強く注意喚起をして欲しいという市民の声もあります。歩きスマホの防止について、見解を質問しました。



ながらスマホはやめましょう（市のHPより）

答弁 市民文化局より

歩きスマホにより注意力低下し、交通事故や犯罪被害にあう危険性が高まることは全国的な課題として認識しています。本市ではHPやメールニュースなどを活用した広報を行っていますが、効果的な啓発の取り組みについて関係機関と共に検討を行って行きたいと考えています。

意見 青木より一言

スマートフォンは便利ですが、日々色々な問題が取り出されます。必要なルールを見極めながら議論して行きます。

代表質問 保育所等運営について

一時保育事業補助金について、本来、その年度実績をみて当該年度に給付を行っていますが、今年度は実績の少ない見込みを鑑み前年度実績が採用されました。柔軟な対応は評価されると考えますが、このままですと来年度見込みの見通しが立ちません。協議内容と対応について質問しました。

麻生区を除く市内6園では、休日保育事業を行っていますが、各園は人件費等で頭を悩ませているのが現状です。園側から寄せられている相談内容と、助成拡大についての見解を質問しました。

答弁 こども未来局より

一時保育事業について、利用数が減少傾向にある

ことや事業者から寄せられている事業継続にあたっての懸念事項等を踏まえ、安定的な事業のあり方について検討していきたい。休日保育事業について、事業費の拡充や人材確保の困難さなどの意見をいただいている。課題を整理して対応策を検討していきたい。

意見 青木より一言

一時保育事業は、便利で必要な施策ですが、コロナの影響もあり、運営する側と利用者ニーズのマッチングが今後の課題です。適切に運営できるように取組めます。

代表質問 行政手続のオンライン化について

総務省は行政サービスの100%デジタル化の実現に向けて取組むと述べ、神奈川県も全ての行政手続きのオンライン化を目指すと表明しています。本市の行政手続オンライン化の進捗状況ならびに課題と市長の決意について質問しました。

答弁 総務企画局より

今月7月に実施した庁内調査では約2,500の手続きのうち、約半数がオンライン化に向けた課題があります。このうち押印関係の手続きについては今年度中に廃止の指針を定め、取組を進めています。ま

代表質問 新型コロナウイルス感染症対策の状況について

第3波により、感染者数は増加の一途をたどっています。神奈川モデルと連携しての病床確保は、柔軟に対応されていますが、現状の確保数と今後の見込みについて質問しました。

神奈川県を通じて国からの補助事業に加え、本市では、地域の実情に即した支援策として県事業に上乗せした設備整備支援金のほか、入院患者の受入れ支援金、専門家派遣支援金、医療従事者支援金を打ち出しています。現在の申請状況について質問しました。

答弁 健康福祉局より（12月3日時点）

神奈川モデルにおいて市内で確保している準備病床数は陽性重症患者用30床、陽性中等症者用150床の合計180床。即時受け入れ可能な即応病床については、11月の件による「医療アラート」の発動を受け、70床から120床に増床しました。今後も必要な病床の確保に努めていきます。

意見 青木より一言

1月12日時点で病床は6割を超える稼働率です。ホテルとは違い、患者さんの入れ替えも、消毒等と

代表質問 自殺対策について

警察庁の発表によると、全国の自殺者数が、10月は昨年度比で39.9%増でした。これで前年より増えるのが4か月連続とのことで、厚生労働省は、コロナウイルスの感染拡大の影響など要因を分析しています。本市の自殺者数に目を向けると、昨年度人横ばいです。全国的に女性の自殺者数が増えて

た簡易な電子申請ツールの導入を検討しており、12月中に実証実験を開始し、効果を検証していきます。

答弁 市長より

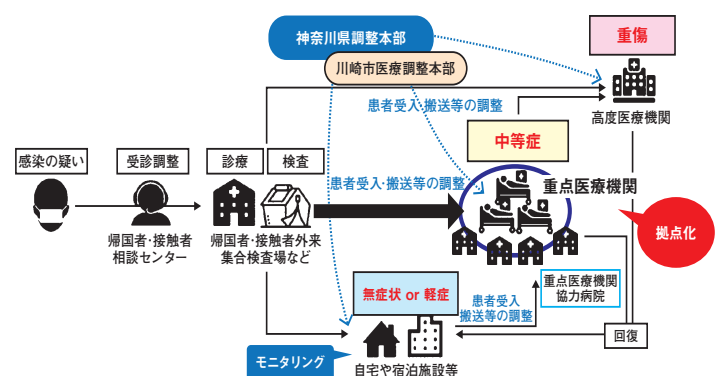
オンライン化は非常に重要な課題であると考えている。課題を一つ一つ検証し、スピード感を持って取組を進めていきます。

意見 青木より一言

接触から非接触型の取組みを進め、感染予防や利便性の向上を目指して行きます。

でも大変です。病床増設や、今後のワクチン接種も、希望する医者や看護師の数の把握、ワクチン保存所保存方法や接種場所など、まだまだ取組みが必要です。最新のモニタリング情報はQRコードからご覧ください。

協力医療機関認定状況（1月5日時点）	
高度医療機関（主に重傷者を受入れ）	2病院30床（市立川崎病院、民間1病院）
重点医療機関（主に中等症者を受入れ）	6病院150床（市立3病院、民間3病院）
重点医療機関協力病院（主に疑似症患者を受入れ）	11病院80床（民間11病院）
合計	19病院（※）260床 （※）一部病院で複数機能を担っていることから実病院数は16病院



神奈川モデル・ハイブリッド版（県ホームページ資料を加工）

いるようですが、本市は数値的にはそのような状況ではありません。本市の自殺者数について見解を質問しました。ある知見では、全国的に失業率が1%増えると約1,200人の自殺者が増えるとの予測が出ています。昨年度対比で本市の失業率の推移について質問しました。

答弁 健康福祉局・経済労働局より

厚生労働省自殺対策推進室が作成している「地域における自殺の基礎資料」による暫定値では、本市の自殺者数は9月時点において130人となっています。内訳としては男性91人、女性39人で、全国的な傾向とは異なっています。今後の自殺者数の推移について、新型コロナウイルスの感染拡大などの影響を考慮し、自殺者数や男女比、年代等の情報収集を引き続き行い、注視していきます。

失業率について、国の労働調査では、南関東における完全失業率を公表しており、前年の7月から9月期は2.3%であったのに対し、本年は3.3%と1.0ポイント上昇しています

代表質問 市内飲食店等による公園内での出店販売や路上販売について

市内飲食店の中には閉店を検討する店も多く、本市として様々な角度からの支援策が求められています。飲食店の中には人が多く集まる生田緑地等の大型公園や、日常的にランチ需要が見込める公共施設の周辺道路等での出店弁当販売を希望する事業者もいましたが、現在の道路占用許可基準においては認められない状態にあります。ウィズコロナ期間が長引くことも視野に、道路占用許可基準の緩和、公園内出店販売の緩和など、市内飲食店にとって様々な販路を作り出すことが必要と考えます。見解と今後の取り組みについて質問しました。

答弁 建設緑政局より

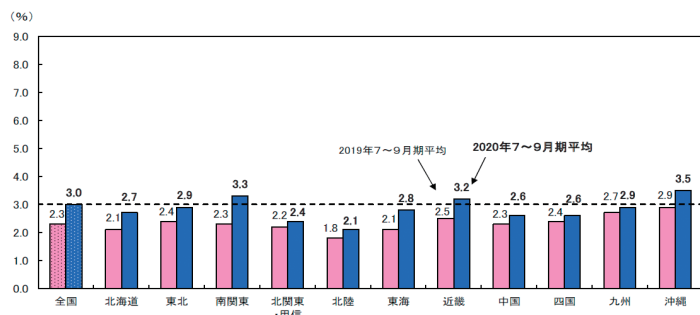
都市公園内における飲食店等の出店については、公園利用に支障を及ぼさないと認める場合に限り許可が可能となっており、実態等に照らし出店を認めています。道路については支援措置として、地方公共団体が支援する商店街などの団体を対象に交通に支障を及ぼさないことや、清掃活動を行うなどの一定の条件のもと本年7月から今年度末までテイクア

代表質問 全国都市緑化かわさきフェアについて

全国都市緑化かわさきフェアは、今までの100年の緑行政を振り返り、100年後のかわさきの緑を想像しながら、緑の価値を創造していくことが重要です。そのために、緑を量的に残すのではなく、緑の価値を創造して行くことが求められます。定量化された評価から、質の評価について求められますが、見解を質問しました。また、質の評価をしていくには、グローバルな視点、老若男女問わず世代を超え

意見 青木より一言

経済の急速な変化により、生活が安定しない方が急増しています。川崎市は、急激に自殺者は増えていませんが、今後も注視して対策をしていかなければなりません。



地域別完全失業率（総務省統計局 労働調査(基本集計)より）

ウトやテラス営業などの路上利用の許可基準の緩和措置を実施しています。公園や道路などの公共空間の活用は賑わいの創出などに資するものと認識しています。今後の社会変容も踏まえながら公共空間の活用について検討していきます。

意見 青木より一言

コロナ禍で、デリバリーなどの新しい飲食の形が求められています。三密を回避できるような飲食店の形の提案を柔軟に取り入れていくべきだと考えます。

答弁 建設緑政局より

本市では新たな緑の価値の創造と、多様な主体による緑の都市づくりを目指しており、その契機となる取組として市政100周年の節目となる令和6年度

に緑化フェアを開催したいと考えています。緑の評価についてはSDGsの達成に緑で寄与する取り組みや、ライフスタイルに緑を活用する取り組みを推進できるよう、数量や自然環境的な視点のみならず社会的



今年、開催地となった広島のメイン会場（ひろしまはなのわ2020HPより）

代表質問 子宮頸がん予防について

本年10月、厚生労働省から同ワクチンに関する個別通知徹底の通知がでました。これを受けて、本市においても情報提供は徹底するべきです。対象者への情報提供と、情報提供を実施していなかった期間に対象年齢だった方への情報提供について質問しました。本市において現在までワクチン副反応の報告はあるのか、接種相談ならびに副反応等接種後のフォローアップの体制はどのようになっているか質問しました。子宮頸がん予防には検診も重要です。本市の検診率を質問しました。

答弁 健康福祉局より

市の予防接種運営委員会で、ワクチンの有効性や安全性など、対象者等が摂取するかどうか判断するための適切な情報提供を周知すべきとされたことから、令和2年9月、個別に周知を行いました。来年度についても適切な情報提供を実施していきます。情報提供を実施していなかった期間に対象年齢



医師と勉強会を実施
(勉強会の様子はタウンニュースにも寄稿しました。詳しくはQRコードからご覧ください)

な視点が必要だと考えています。現在、学識経験者や経済、観光、メディア、大学生など様々な分野の方々からなる懇談会を立ち上げました。幅広く意見を聞きながら緑の評価について検討していきます。

意見 青木より一言

未来に残す価値あるものとして、緑は大変重要です。豊かさを感じられるような緑の残し方についての取り組みを進めていきたいと考えます。

だった方への情報提供については極めてまれですが副反応による健康被害発生した場合に国の救済措置が適用されないことも含めて、国において検討してもらう必要があると考えています。副反応の疑いとして本市に報告され認定された件数は1件です。フォロー対応性については医療機関で対応していただく他、保健所での相談を受け付けるとともに、協力医療機関についてHPに公表しています。子宮がん検診受診率については、48.5%です。

意見 青木より一言

年間3000人、発病まで入れると年間で1万人の方が、発病するといわれる子宮頸がん。ワクチンの効果、反応、接種費用や時期など、知らなかったという人がないように、正確な情報の発信が必要です。



自らもワクチン接種をしました

かわさき防災アプリ

各種災害情報や気象警報の配信や開設避難場所への誘導など災害発生時に必要となる情報や、土砂災害や洪水などのハザードマップを確認することができます。

かわさき防災アプリ



QRコードは紙面上に掲載



次回定例会は2月末からスタート予定
会議日程などHPにて
随時更新中

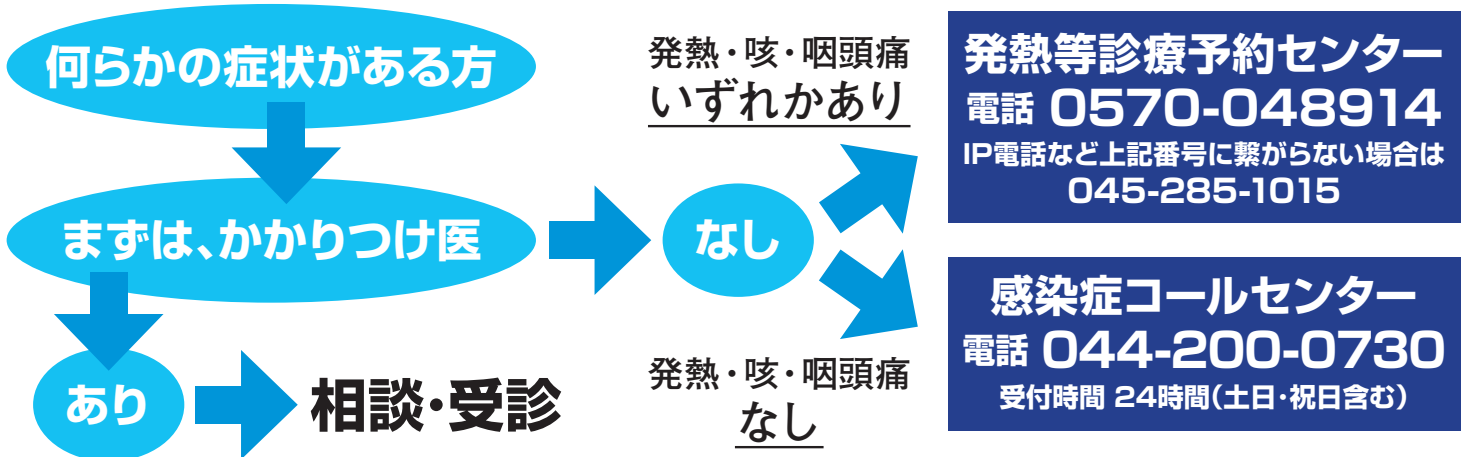
川崎市議会



【新型コロナウイルス感染症関連】 インフルエンザ流行期に向けた相談窓口について ～発熱などの症状がある方へ～

新型コロナウイルス感染症と、例年流行している季節性インフルエンザなどは、症状だけで鑑別することが困難です。11月2日に、神奈川県が「発熱等診療予約センター」を開設したことから、川崎市も相談窓口の体制を一部変更しました。

発熱等の風邪症状がある方は、まずかかりつけ病院に相談・受診しましょう。



かかりつけ医がない場合の相談窓口は以下の通り一部変更になりました

11月1日まで

川崎市新型コロナウイルス 感染症コールセンター 044-200-0730	24時間 土日・祝日含む
各区に設置した帰国者・ 接触者 相談センター	8:30～21:00 土日・祝日含む

新設

番号を
統一

神奈川県発熱等 診療予約センター 0570-048914	9:00～21:00 土日・祝日含む
川崎市 新型コロナウイルス 感染症コールセンター 044-200-0730	24時間 土日・祝日含む

発熱・咽頭痛・
咳のいずれかの
症状がある方

発熱・咽頭痛・
咳がない方
その他一般的
なご相談

その他の相談窓口

神奈川県新型コロナウイルス感染症専用ダイヤル
電話 0570-056774

一部のIP電話など上記番号へつながらない電話は045-285-0536へ

受付時間：感染の不安のある方、健康・医療に関すること、COCOA・濃厚接触者に関することは24時間。その他の相談（協力金に関すること、大規模イベント開催の事前相談に関すること、経営相談に関することなど）は、平日9時～17時



青木のりお 昭和52年8月26日生まれ

- 4期連続トップ当選（29才初当選）
- 議会運営委員会委員長
- 健康福祉委員長、まちづくり委員長歴任
- 川崎市幼稚園父母の会、連合会前会長、高津消防団員、保護司、川崎高津ロータリークラブ
- 英国ボーンマス大学院国際経営学Dip取得、産業能率大学、サレジオ学院中高、洗足学園小、川崎めぐみ幼
- 両親、妻、息子3人の7人家族
- ブラックフットボール日本選手権3連覇 W杯日本代表、キリマンジャロ登頂成功(5,895m)

川崎市議会議員
青木のりお事務所

〒213-0029 神奈川県川崎市高津区東野川2-29-11

TEL 044-788-8899
FAX 044-788-6440
E-mail info@aokinorio.com
H P http://aokinorio.com

**厚生労働省の電話相談窓口
(コールセンター)**

0120-565653

受付時間：9時00分～21時00分(土日・祝日含む)

救急医療情報センター
電話 044-739-1919

受付時間：24時間 お近くの医療機関を探すことができます。※新型コロナウイルス検査についてのご案内はしておりません。